



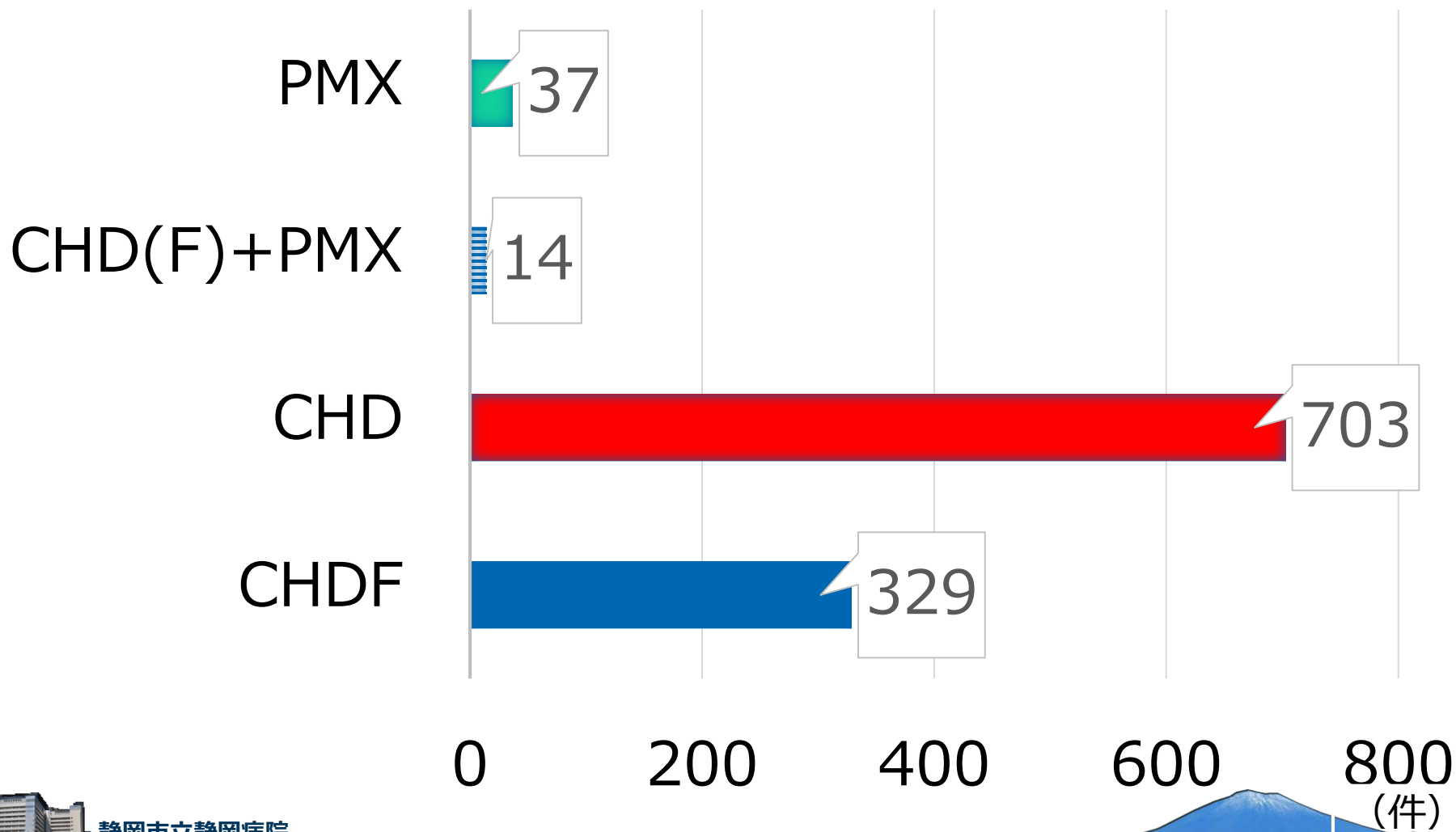
急性期血液浄化における 業務効率化に関する試み

地方独立行政法人
静岡市立静岡病院
茶山 宣

医療支援部 臨床工学科

2018年度 急性期血液浄化施行数

2018.4.1~2019.3.31



急性期血液浄化の業務内容

- 2018年度まで

PMX準備～実施



CHDF準備～実施

Dr指示受け→技士の作業時間約3～4時間

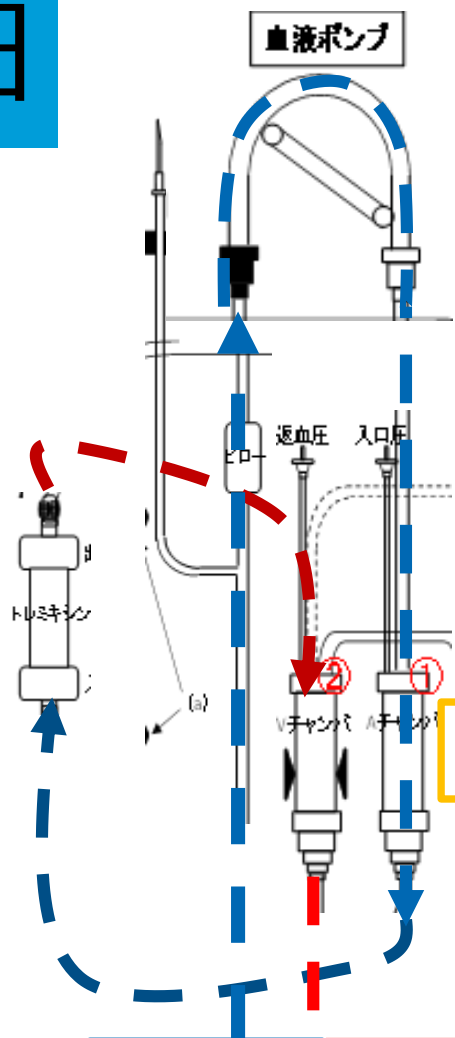


業務の効率化を考える必要があった

- 新規回路の導入
- 指示書兼チェックリストの改訂
- スタッフ説明、勉強会
- マニュアルの改訂

業務効率を上げるための工夫

旧



脱血側



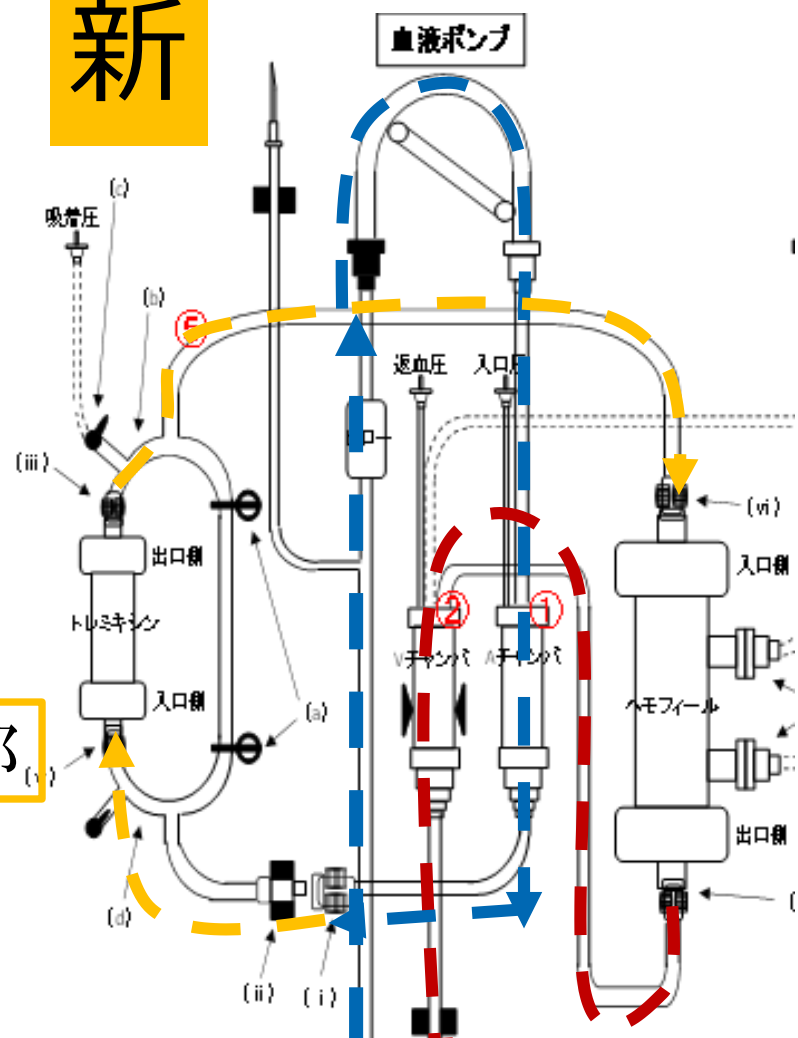
返血側



新規回路部

脱血側 返血側

新



脱血側 返血側

業務効率を上げるための工夫



結果

- 2018年度まで

PMX準備～実施



CHDF準備～実施

Dr指示受け→技士の作業時間約3～4時間



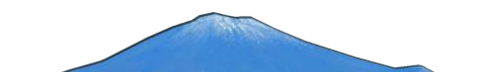
急性期血液浄化用の新規回路を導入

- 2018年度(3月より)～現在

作業時間を大幅に削減

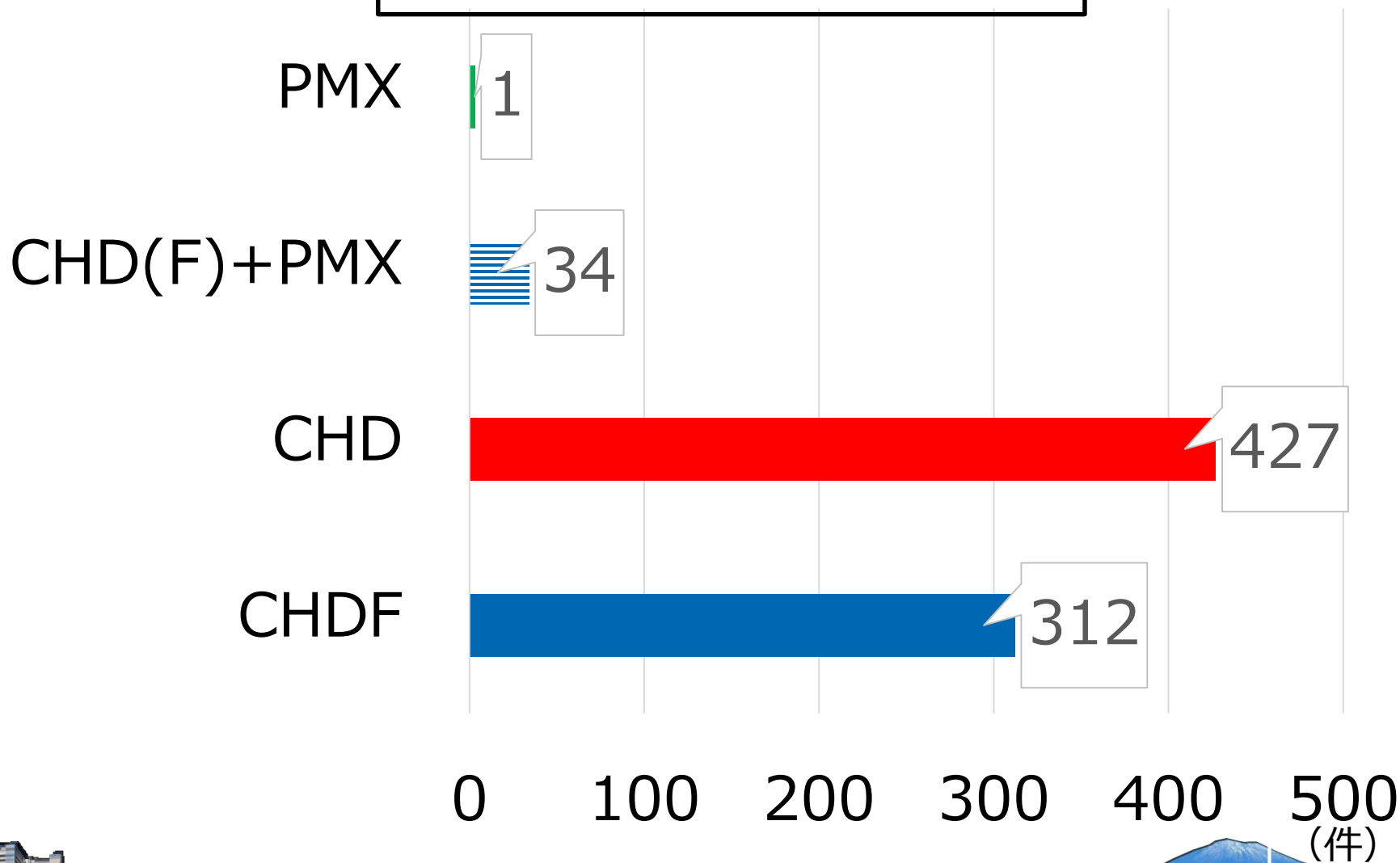
PMX・CHDF準備～実施

技士の作業時間約1.5時間



2019年度 急性期血液浄化施行数

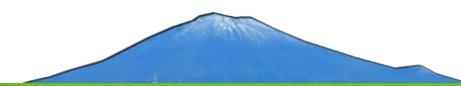
2019.4.1~2019.12.31



その他

血液浄化件数

	2018年度	2019年度
CART	66	113
PE	0	4
G-CAP	9	8
出張透析	9	0
ビリルビン吸着	1	0



まとめ

- 急性期血液浄化業務（PMX）で新規回路導入、スタッフ教育、チェックシート改定により安全性を確保しながら作業時間の改善ができた。